

## 畜産安心ブランド生産農場だより

～クリーンビーフ生産農場に認定されて～  
岩船郡荒川町：遠山農場 遠山 幸一 氏

今年になって、食品の偽装などで安全性が特に問題になっています。創業何百年の老舗が築いた信用も一日で無くなる時代です。

私達、食肉に携わる関係者として、安全・安心という信用が大事だと思っています。村上牛では、初めは和牛部会役員がクリーンビーフ生産農場の認定を受けました。そして、今年は部会員も認定を受ける準備をしています。できれば、村上牛生産農家すべて、クリーンビーフ生産農場になってもらいたいと思っています。

牛肉は、トレーサビリティで生産農家を知ることにはできるのですが、その牛が肥育中にどのような飼料を給与され、どのような医薬品の投与を受けたかの情報はありません。一方、認定農家は、飼養管理を記帳しているので提示することができ、それが信用につながると思います。

これからも、安全・安心な村上牛を、仲間とともににつくっていかうと思っています。



(遠山農場)

## 〈緊急〉お知らせ

### 配合飼料価格の高騰等に関する 経営相談窓口を設置しました。

昨今の配合飼料価格の高騰等により畜産経営が非常に厳しい状況に直面していることから、生産者からの経営相談に的確に対応するため相談窓口を設置しました。

お気軽に、ご相談ください。

#### 1 設置場所

社団法人新潟県畜産協会  
〒950-1101 新潟市西区山田2310-15  
TEL025-234-6781 FAX025-234-7045

担当窓口：支援業務課

#### 2 設置日 平成19年12月18日（火）

#### 3 相談受付内容

- ・「家畜飼料特別支援資金通事業」をはじめ、畜産経営に関する資金、各種資金の借り入れに関すること。
- ・経営安定、生産性向上、コスト低減のための各種事業
- ・配合飼料価格の上昇に対応した飼養給与等の技術改善、生産方式の転換等家畜の生産性向上のための飼養管理技術
- ・経営改善や経営技術向上のための対策

#### 4 相談方法

○ 電話又は来所による。

- ・対応時間は土曜、日曜、祝日を除く  
午前8時30分から午後5時まで

## 編集後記

歳末商戦の真っ最中であるが、新聞の広告欄やチラシを見ていると、食品ではやはり畜産物がページの多くを占めている。いろいろな飾る工夫をしているので、見ているだけで食べたいという思いが脳裏をめぐる。先日「にいがたフードブランド・プレゼンテーション ～にいがた和牛～」に出席させてもらったが、新潟のイメージは食に関して豊かさが溢れている。イベント企画会社の方々との意見交換でも同意見であった。おいしい食材が豊富にあることが大きい、その一角を占めようとしているのが「にいがた和牛」だ。普段の生活では何気なく見過ごしている自分が「にいがたフードブランド」の場で、改めて「新潟の食」を再認識している。

今年も食品の偽装表示問題で食の信頼性や安全性が話題になったが、畜産物を生産している側の一員としては、良いものは良いと評価してもらい、これが価格に反映し再生産につながってくればとの思いが強い。他人の作ったブランドを偽ってまで消費者をだまし儲けようなんて愚の骨頂である。「にいがた和牛」は着実にファンを広げ牛肉業界でのトップブランドになりたいと思う。

(花田記)